千葉県優秀企業経営者表彰

第16回千葉県ベンチャー企業経営者表彰

受賞者決まる

千葉県内の優れた中堅・中小企業経営者を顕彰する千葉県優秀企業経営者表彰（第16回千葉県ベンチャー企業経営者表彰）の受賞者５人が決まった。26日、千葉市内のホテルで表彰式と受賞懇親会を開催する。受賞者には賞状、受賞盾のほか副賞賞金が贈られる。受賞した経営者の年齢や、業種はさまざま。地域密着型サービスで業績を伸ばす経営者や、今後の発展、成長が期待される分野に挑む経営者もいる。知恵と工夫によって企業を成長させている受賞者に、起業のきっかけや事業戦略、今後の展開を聞いた。

県を代表する企業経営者を表彰

2月に開催した最終審査会

千葉県優秀企業経営者表彰（第16回千葉県ベンチャー企業経営者表彰）は、1996年度（平成8）の創設以降、千葉県内の優れた中堅・中小企業経営者を顕彰している。主催は千葉産業人クラブ（白鳥豊会長＝白鳥製薬社長）。千葉銀行、公益財団法人ひまわりベンチャー育成基金の協力を得て、千葉県と日刊工業新聞社が後援。地域に根ざす経営者の功績や手腕を顕彰を通じて、県経済の活性化を後押ししている。

応募は自薦他薦不問。これまでに145人の経営者を選出してきた。過去の受賞者には株式上場や海外事業の拡大によって業績を伸長させるなど、事業を次の成長局面に移した経営者も多い。

最終審査会で5人を選出

今回は23人の応募があった。書類審査を経て2012年2月、千葉市内のホテルで最終審査会を開催した。ノミネートは11人。①事業の独創性②競争力③業績④経営ビジョン⑤社会貢献―の5点の基準で審査した。委員による活発な議論をもとに厳正に審査した結果、受賞者5人を選出した。

審査委員は次の通り。

田中秀明千葉県商工労働部産業振興課長、中山充史千葉県産業振興センター理事長、石井泉千葉県産業支援技術研究所長、北村孝司千葉大学産学連携・知的財産機構副機構長、太田雅美千葉銀行法人営業部長、水野創ちばぎん総合研究所社長、白鳥豊千葉産業人クラブ会長、石上明男日刊工業新聞社東京支社長。

今年度の受賞者は…

知恵と工夫で事業を伸長

一層の成長に期待

最優秀社長賞（知事賞）には、エージー・ジャパンの相原英二社長が選ばれた。相原氏は2007年、太陽光発電パネルの販売、施工で創業。4年間で関東5県に7カ所の営業所を相次いで開設。現在、1カ月に一戸建て住宅約200棟のパネル施工を手がけている。東日本大震災の発生以降、新エネルギーが注目される中、地域密着型の営業戦略や分業が標準的なモデルの業界において、販売、施工、保守を一貫して手がける体制が顧客に安心感を与え、事業を拡大している点が高い評価を得た。

優秀社長賞には3人が選ばれた。

イシドの石戸謙一会長は千葉県を中心にそろばん教室を多店舗展開し、新しい珠算塾のモデルを構築している。栄和化学工業の平井篤社長は樹脂製シール材「Oリング」の専業メーカーとしてモノづくりに貢献し、海外展開にも積極的だ。諏訪商店の諏訪寿一社長は、土産物などの卸売りのほか、新事業にも積極的。千葉県産の食品を多く扱う小売店「房の駅」を県内で展開し、地域活性化を後押ししている。

創業10年未満または新事業進出後10年未満の経営者を表彰する、ひまわりベンチャー育成基金賞に植物工場を手がける、みらいの嶋村茂治社長を選出した。事業の将来性、今後の事業展開に対する期待が大きかった。

受賞者の年齢は40代が2人で、60代が3人。自ら起業した創業者が3人で家業を継いだ2代目社長が2人と、これまでの経緯も違う。業種も多岐にわたるが仕事にかける強い思いや、先を見据えながら事業を展開し、着実に会社を成長させている点で共通している。

受賞者の「これから」に期待したい。

第二の社長人生　社会貢献の視点を

最優秀社長賞（知事賞）

エージー・ジャパン社長

相原　英二氏

―起業は2度目になります。

「85年にファミリーテレホン（現エフティコミュニケーションズ）を大阪で設立し、全国展開と株式上場を目指した。上場のめどが立った時に肝炎を患い、後進に経営を譲った。医者から『回復率は2割』と言われたが奇跡的に退院できた。生き永らえさせてもらったのだから、残りの人生で社会貢献をしたいと考えるようになった」

「エージー・ジャパンの設立は、太陽光パネルの施工会社で営業をしていたかつての部下と再会したのがきっかけ。二酸化炭素を出さず、地球温暖化を防ぐことで社会に貢献できる太陽光発電に興味がわいた。偶然、彼の名前も私と同じ『英二』。社名は二人の名前から取った」

―『売りっぱなし』ではない、きめ細かいサービスを展開しています。

「販売、施工、保守を当社のグループで一貫し、施工後も見守る。社員に法令順守を徹底させ、無理に売らせない。ショールームや商業施設で開くイベントの来場者も多いが、その場で契約はしない。後日訪問して丁寧な説明をするよう心がけている」

「お客さまに『安心感』を持ってもらうことが何より大切。本契約までにCCSが連絡し、契約内容、営業の対応などをヒアリングし、納得してもらった上で手続きしてもらう。CCSは社長直轄の部署で営業所からは連絡が取れない。情報は直接、私に伝わる仕組みになっている」

―人材育成に力を入れています。

「社員は中途採用者が多い。辞職の理由を知って対処し、全社員を豊かにするのが私の役目。社員は会社の命でもある。研修を通じて基本を教え、実施して個々の成長に応じて管理を任せるなど、やりがいを見つけてもらえるような環境を整えている」

―地域密着型の営業を展開しています。

「通信機器の営業をしていた時代に、目にした競合会社の営業マンの姿勢に大きな影響を受けた。ある街で電話機の営業をしてもなかなか契約に結びつかなかったが、彼は自転車で街を回って地域に入り込み、ほとんどの家と契約していた。真の営業の姿と思った。業種は違っても常に地域に根を張り、愛される営業でありたい」

―戸建て中心ですが、今後の展開は。

「電力の全量買取制度が7月に始まる。発電量の多い集合住宅に有利だ。法人営業専門の部署の設置も検討しており、マンションや大型物件にパネル設置の提案をしていきたい。家庭部門はリフォームなどのサービスを提供し、住宅のことなら何でも相談できるような体制にしたい」

エージー・ジャパン本社

2011年には野外音楽イベントに協賛。太陽光パネルなどを展示し、社会貢献の姿勢をアピールした

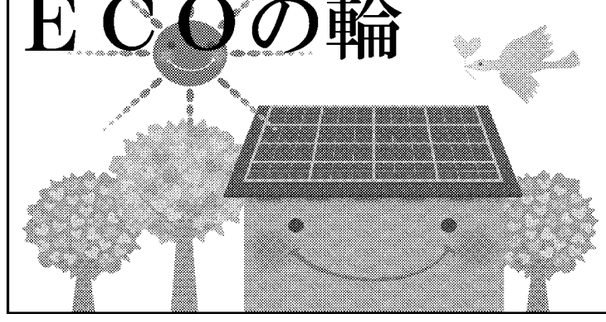
企業メモ

エージー・ジャパン

（千葉県松戸市、相原英二社長、047・391・2311）一戸建て住宅を中心に太陽光パネルの販売、施工、保守サービスを提供する。契約内容を営業から独立したＣＣＳ（法令順守を推進する部署）が確認する販売システムで顧客の支持を得て、施工数を拡大。月200棟、年間2000棟以上は「東日本でトップクラス」とパネルメーカーも一目置く。

2011年６月期の売上高は前期比1.5倍の約40億円。相原社長は「無理に規模は追わず、社会貢献の視点を持ち続ける」姿勢で業績を伸ばしている。

未来につなげよう
ＥＣＯの輪



株式会社エージー・ジャパン
〒270-2223 千葉県松戸市秋山 88-1
info@eg-japan.co.jp
http://eg-japan.co.jp
0120-089-059
一般社団法人全国太陽光発電協議会加盟
平成 23 年度千葉県最優秀経営者賞（知事賞）受賞
国内クレジット制度排出削減事業者　事業者番号 JCDM-PJP0045
「２４時間テレビ 愛は地球を救う」の草の根チャリティーネットワークに参加しております。

ベンチャー・中小企業を支援
www.sangyojin.jp
千葉産業人クラブ
〒260-0028　千葉市中央区新町19－13
（日刊工業新聞社 千葉支局内）
TEL.043-245-2711　FAX.043-245-2712

日本の、世界の、人類の未来をサポートしたい。
それが株式会社みらいです。

植物の生育に必要な環境を、
人工的に制御して栽培することを可能にした
植物工場装置
「GREEN ROOM グリーンルーム」
MIRAI
株式会社みらい
〒270-2218 千葉県松戸市五香西2-20-12
TEL:047-316-0432　FAX:047-316-0433
http://miraigroup.jp/

微小ゴムパッキンなら、
シールするなら、
価格で比較
EIWA
栄和科学工業株式会社
〒274-0071　千葉県船橋市習志野4-15-3
TEL 047-465-8313
FAX 047-468-0019
E-mail : sales@erm.jp

そろばんで可能性無限“大”
私たちはただのそろばん教室ではありません。
幅広い計算能力と柔軟な思考力を兼ね備えた
人々を発信していく企業です。

ISHIDO 株式会社 イシド
〒270-1424　白井市掘込1−1−12　渡辺ビル2F
本部事務所　TEL 047-492-2338　FAX 047-492-3037
http://www.soroban.co.jp/

千葉が好き。
房の駅
FUSANOEKI
千葉のおみやげ
たくさん揃ってます!

千葉みやげ2000品!
地元産品　OEM　ふるさと産品
30日で商品化いたします!!
弊社にて企画した地元産品▶

株式会社諏訪商店　千葉県市原市国分寺台中央 7-16-2
TEL 0436-21-2637
詳しくはこちら▼
諏訪商店　検索